

「さがら子生れ温泉会館」に付随するガスの調査・検討

当市所有の「さがら子生まれ温泉会館」の温泉付随ガスの湧出量や成分調査を行い、その有効利用について検討を行います。事業費は、補助金上限の 1,000 万円を予定しています。

◆事業実施内容

過去における調査では、子生まれ温泉の不隨ガスのメタンガス濃度は 97~98% で極めて高純度であることが分かっています。メタンの温室効果は CO_2 の約 25 倍であることから、大気放散されているメタンガスを燃料として、新たな電力および熱を生産することができれば、地球温暖化の防止に大きく貢献します。このことから、子生まれ温泉で大気放散されている不隨ガスによる再生可能エネルギー設備事業化の可能性調査を実施します。

この事業は、高度に専門的知見を必要とすることから、国立大学法人静岡大学（グリーン科学技術研究所_木村浩之准教授）へ委託して実施します。

なお、事業費には温泉成分調査、ガス組成調査、温泉及びガス湧出量調査などの調査費のほか、（ガス発電）事業化に向けた基本計画策定費などが含まれています。

◆財源となる国の補助概要

当市は、事業化計画策定事業に応募し、7 月 12 日付で採択されました。
1,000 万円を上限として補助金が交付されます。

